



AMORIGAWA

気高く
清く
たくましく



学級数：39学級
児童数：877人
☎ 0995-47-0077

HPアドレス <http://www12.synapse.ne.jp/amorigawa/>

じいじの切っぴ

天降川小学校 三年 石神 さな

「国鉄線、鹿屋から百九十円区間」
引き出しのおくから出てきた一まいの切っぴ。
ずつと、ずつと前に、鉄道記念館で働いているじいじからもらった切っぴです。

「ねえ、これどういう意味なの。」

「昔は、国分から鹿屋まで電車で行けたんだよ。」

「ええ、あんな山の中を電車が走ってたの。」

お父さんに言われて、いつもの鹿屋に向かう山道がうかんできました。

「たぶんそっちの道じゃないと思うけどなあ。」

じゃあ電車は、どこを通っていたの。どうして今はなくなっちゃったの。わたしの頭の中がぐるぐる回り始めました。

「じいじに教えてもらったらいいんじゃない。」

そういつて、お父さんは、鹿屋につれていつてくれました。

鹿屋に着くと、さっそくじいじと妹といっしょに鉄道記念館へ行きました。

「これは昔の鹿屋駅の写真。古江、高山、野里の駅は、昔の駅のたて物がのこってるよ。」

じいじと古い路線地図の駅を一つずつ指でなぞり、昔の写真とくらべていきました。

「この高すのトンネルをほるのには、たくさんの方がぎせいになったそうだよ。」

写真を見ると、高さのひくい短いトンネルです。こんなに小さなトンネルをほるのにたくさんの方がなくなつたなんて信じられません。

「でも国鉄になってトンネルができたおかげでしぶしまで鉄道がつながったんだよ。」

「みんなの思いが詰まったトンネルなんだね。でも、そこまでして作ったのに、どうして大すみ線は、なくなっちゃったの。」

「だんだん車を使う人がふえて、鉄道を利用する人が少なくなつてしまったからねえ。」

じいじがさびしそうに教えてくれました。

「昔は、古江や高すから行商のおばちゃんたちが汽車にのつて魚を売りに来ていたよね。」

「ばあばが話に入ってきました。写真には、大きな四角いかんかんがついたぼうをかっただか

つぼう着の女の人が、たくさんのお客ののつた汽車にのりこむすがたが写っています。」

「昔はスーパーなんてなかったから、新せんな魚が食べられてうれしかったなあ。高校生にとつてもきちょうだったのよ。」

「ばあばがなつかしそうに言いました。大すみの人たちのくらしをかえ、ゆたかにした鉄道。」

「わたしものつてみたかったな。」

「じゃあ、列車が走っていた所に行つてみる。」

お母さんがわたしの顔をのぞきこみました。

大すみ線は、国分駅の0番線から出発します。じいじと見た地図をたよりにたどつていくと、黒酢畑の中に大きなトンネルを見つけた

した。このトンネルの先はきつと鹿屋に続いているはず。じいじの切っぴを手に線路あとの道

に立つて目をつぶると、シューツというじょう

気の出る音や列車にのる楽しそうな人の声が

聞こえてきました。冬休みには、この先の道を

たどつて、鹿屋までいきたいです。

大隅線は、かつて曾於郡志布志町の志布志駅から国分市の国分駅までを結んでいた、日本国有鉄道の鉄道路線である。国鉄再建法の施行により1984年6月に第2次特定地方交通線に指定され、1987年3月14日に全線廃止となりました。さなさんは、在りし日の大隅線を知るおじいちゃんとおばあちゃんの話をおもしろくしながら聞いたことでしょうか。便利になる一方でなくなっていくものがあるのは仕方ないことですが、ぜひ記憶にとどめ、記録として残していきたいですね。

「和敬清寂（わけいせいじゃく）」

現代にまで受け継がれる茶道を大成した千利休（せんのりきゅう：1522～1591）の唱えた茶道の精神を表す言葉です。この言葉には「誰とでも仲よく、すべてにおいて調和を大事にし、お互いを尊重し合い、何事も心から清らかであること、それによって穏やかでどんな時にも動じない心に至る」といった意味もあるようです。客人をもてなす心持ちやお茶の入れ方、場づくりなど、お茶一杯に込められた想いが伝わる言葉です。

今回、6年生の全学級の子供たちが、茶業生産組合の方の指導を受け、おいしいお茶の入れ方を教えていただきました。時間に追われることの多い毎日だと思いますが、子供たちが教えていただいたことを生かして、家族の方がほっと一息つく時間を演出してくれていたらうれしく思います。



プラモデルを題材に、未来につながる持続可能なものづくりを学ぼう! ～ガンプラアカデミア～



機動戦士ガンダムを知らない世代でしたが夢中になって作成しました。

5年生が社会科の学習の発展内容として、取り組んだ活動です。

プラモデルを題材に、工場における製造工程や、優れた最新技術の発展を理解することができました。

なお、プラモデルの部品を切り取った残りは、回収してリサイクルされます。

一人一台端末(タブレット)活用に対する意識改革

3年生以上の子供たちは、学習だけでなく朝の活動でも利用している姿を多く見かけるようになりました。「習うより慣れる」ではありませんが、失敗や成功体験を積み、便利さも不便さも感じながら、よりよい活用技術を身に付けていくこと、体験の大切さを実感いたします。

私たち職員も活用術を高めるための研修を行いました。その中で6年2組担任の中村元気教諭の実践を紹介してもらい、便利さの一端を知ることができました。

「一人一台端末は文房具であり、マストアイテム」

そのことがあたり前になる日がやってきました。



正しく恐れ 予防の継続 徹底

コロナウイルスは変異を重ね、第6波の主流はオミクロン株と言われています。その性質は、重症化のリスクは低いのですが、感染力が非常に高いため、これまでにない急拡大につながっているようです。どのような状況であっても、これまでの予防を継続、徹底することが私たちにできる一番の水際対策です。どうぞ、お互いの健康・生命を守るために予防の継続、徹底への御理解御協力をお願いいたします。

全国的にも、鹿児島県内においても、誰もが罹患する状況にあります。繰り返しのお願いになりますが、他者に思いを馳せる、思いやりの心を忘れないようお願いいたします。

感染しない・させない基本

- 手洗い・マスク着用
- 免疫力を高める規則正しい生活



○ 3つの「密」の回避

- 密閉: 換気の悪い密閉空間にしない
- 密集: 手が届く距離に多くの人が集まらない
- 密接: 近距離での会話や大声での発声を控える

換気の徹底



※ 新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くまでは、令和4年度日課表の試行は見送ります。試行を開始する際は改めて御連絡いたします。